

熱中症対策・交通安全についてのお願い

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。5月になり、今後、気温や湿度が高い状況下で登下校することになることが見込まれますので、熱中症の予防に留意する必要があります。

そこで以下のような対策を取り、新型コロナウイルス感染症と熱中症に十分気をつけながら教育活動を行ってまいります。ご理解の程よろしくお願いいたします。

(1) 脱水症状を防ぐために

- ・お子さんが登下校中に脱水症状とならないよう、水筒を持参し、水分補給をこまめにしていきます。(学校の水道水を飲むこともできます)
- ・高温時は、塩分補給のためにスポーツドリンクを水筒に入れてもよいですが、うすめて持参いただくともよいです。(糖分取りすぎとなるため、お茶をお薦めします)
- ・お子さんの体調によって下校の心配がされる場合は、塩分入りタブレットなどをご持参いただいてもよいです。帰りの会後の時間を使い、熱中症対策を行ってから下校するようにします。
- ・急に気温が上昇し、塩分などタブレットが必要とされた時(塩分過剰摂取を防ぐため、給食後時間が経過した6時間授業終了後の下校の場合)には、下校前に1人1粒配付してから下校します。錠剤原材料は、ぶどう糖、食塩、クエン酸です。心配がある場合には担任までお知らせください。

(2) 直射日光を防ぐために

- ・登下校時には各自持参した傘、日傘をさすなど、直射日光をできる限り回避できるよう工夫をお願いします。日傘で傘の先がプラスチック製で子供用も、販売されています。傘の先が金属製の物をさした時には、十分間隔(ソーシャルディスタンス)をとって歩くよう学校でも話しますので、ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。

(3) 体温上昇を防ぐために

- ・通気性の良い服装や冷感マフラー・ネッククーラー等の使用をして、体温の上昇を防いでいきます。教室(冷房使用)ではずしますので、ビニール袋をご準備ください。また、記名もお願いします。
- ・熱中症のリスクを避けるため、夏季など気温や湿度が高い日の登下校時には、児童間の距離をあけて話さないようにして、マスクを外すようにします。
- ・ランドセルは交通事故の際にクッションとなり後頭部への衝撃を減少させたり、水に浮くの水難事故の際、浮き輪代わりにもなったりするなど、安全上において小学生にふさわしいカバンであると考えられます。ただ、背中に熱がこもってしまうという側面もありますので、日によっては熱中症対策という観点からランドセルではなく、ナップザックやリュックサックの使用も可とします。

(4) 大切な命を守るために ～交通安全について～

- ・登下校時の安全を確保するため、きらきらサポーターの方、可児市交通安全女性の方、保護者様、地域の皆様、可児警察署等の協力を依頼し、子どもの登下校を見守っていただいておりますので、ご承知おきください。